

# 特集

## 新しいモビリティ

近年、「MaaS」(Mobility as a Service)や自動運転といった新たなモビリティサービスの導入に向けた動きなど、交通分野では「モビリティ革命」とも言える変化が現れつつある。IoTやAIなどの新技術の活用や分野の連携による新たなモビリティサービスは、交通産業・サービスの生産性や利便性の向上、地域交通に新たなサービスをもたらすものとして、期待されているところである。

従来、道路交通は、歩行者、自転車、自動車の大きく3つのモードにより、限られた空間を共有してきた。新たなモビリティは、従来の自動車のカテゴリにおいて、自動運転やゼロカーボンを目指したスマートなクルマであったり、歩行者・自転車のどちらにも属さない電動キックボードのような新たな乗り物であったりと多様である。

このような背景を顧みて、本特集は、新しいモノやサービスの普及にあたり、そのモビリティの利用者のみならず、他の道路利用者の理解を得つつ、サービスの有効性、利便性などを地域全体で共有していくことが重要ではないか、といった視点で企画した。

基調レポートでは、筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授 谷口 綾子 氏に、新たなモビリティの社会的受容と留意点についてご寄稿いただいた。次に、京セラコミュニケーションシステム株式会社 事業開発シニアディレクター 吉田 洋 氏には、無人自動配送ロボットを活用した、シェアリング型配送サービスの未来と題して、石狩湾新港地域で実施された実証実験の状況をご紹介いただいた。そして、超小型モビリティで環境と観光を両立させる次世代レンタカー事業を始めた、屈斜路プリンスホテル 営業アシスタントマネジャー 北澤 康明 氏にお話を伺った。

道内における新たなモビリティ導入に向けた具体的な動きを理解しつつ、導入・拡大にあたっての留意点を考えるきっかけになれば幸いである。

### 基調レポート

#### 新たなモビリティの社会的受容と留意点 —自動運転システムと電動キックボード—

筑波大学システム情報系 社会工学域 教授 谷口 綾子 氏

### インタビュー

#### インタビュー1

#### 無人自動配送ロボットを活用した、シェアリング型配送サービスの未来 —石狩湾新港地域での実証実験から—

京セラコミュニケーションシステム株式会社(KCCS) 事業開発シニアディレクター 吉田 洋 氏

#### インタビュー2

#### 阿寒摩周国立公園を走る超小型モビリティ「てしかがチョコモ」。 環境×観光を実現する次世代レンタカーに注目。

屈斜路プリンスホテル 営業アシスタントマネジャー 北澤 康明 氏

